

行政機構整備實施ノ爲ニスル厚生省官制中改正ノ件

(参照添付)

昭和十八年十月三十一日	決議
昭和十八年十一月一日	公布
勅令第八百十五號	

勅令第 號

厚生省官制中左ノ通改正ス

第三條 厚生省ニ左ノ四局ヲ置ク

健民局

衛生局

勤勞局

保險局

第四條 健民局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 人口ノ涵養及國民ノ保健ノ企畫ニ關スル事項

二 健民生活ノ指導ニ關スル事項

三 體力管理ニ關スル事項

四 武道、體育運動其ノ他體育訓練ニ關スル事項

五 母性及乳幼児ノ保護指導ニ關スル事項

六 其ノ他人口ノ涵養、國民ノ保健及社會事業其ノ他國民生活ノ保護指導ニ關スル事項ニシテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

第五條中第五號ヲ第六號トシ第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五 勤勞衛生ニ關スル事項ニシテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

第六條 削除

第七條 勤勞局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民動員實施計畫ノ設定及遂行其ノ他勤勞ノ需給ニ關スル事項

二 職業指導及職業訓練ニ關スル事項

三 賃金、給料其ノ他勤勞ノ條件及勤勞能率ノ増進其ノ他勤勞管理ニ關スル事項(軍需省ノ

所管ニ屬スルモノヲ除ク)

四 勤勞者住宅其ノ他住宅ニ關スル事項

五 其ノ他勤勞ニ關スル事項

第十三條中「技師專任四十人」ヲ「技師專任三十八人」ニ改ム

第十四條中「體育官專任六人」ヲ「體育官專任四人」ニ改ム

第十六條中「專任二百九十四人」ヲ「專任二百四十人」ニ改ム

第十七條中「技手專任二十五人」ヲ「技手專任十七人」ニ改ム

第十八條中「體育官補專任五人」ヲ「體育官補專任三人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

厚生省官制

第一條 厚生大臣ハ人口ノ涵養、國民ノ保健、社會事業其ノ他國民生活ノ保護指導、勤勞及社會保險ニ關スル事務ヲ管理ス

第二條 大臣官房ニ於テハ通則ニ掲グルモノノ外左ノ事務ヲ掌ル

- 一 所管行政ノ綜合調整ニ關スル事項
 - 二 所管行政ニ關スル調査及審議立案一般ニ關スル事項
 - 三 所管行政ノ考査一般ニ關スル事項
 - 四 厚生省研究所ニ關スル事項
- 第三條 厚生省ニ左ノ五四局ヲ置ク

健民局

人口局

衛生局

生活局

勤勞局

保險局

第四條 健民局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 人口ノ涵養及國民ノ保健ノ企畫ニ關スル事項

二 健民生活ノ指導ニ關スル事項

三 體力管理ニ關スル事項

四 武道、體育運動其ノ他體育訓練ニ關スル事項

五 母性及乳幼児ノ保護指導ニ關スル事項

六 其ノ他人口ノ涵養、國民ノ保健及社會事業其ノ他國民生活ノ保護指導ニ關スル事項ニ

シテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

第四條 人口局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 人口ノ涵養及國民ノ保健ノ企畫ニ關スル事項

二 體力管理ニ關スル事項

三 武道、體育運動其ノ他體育訓練ニ關スル事項

四 母性及乳幼児ノ保護指導ニ關スル事項

五 其ノ他人口ノ涵養及國民ノ保健ニ關スル事項ニシテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

第五條 衛生局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 醫事及藥事ニ關スル事項

二 衛生資材ニ關スル事項

三 飲食物ノ衛生及環境衛生ニ關スル事項

四 檢疫及傳染病其ノ他ノ疾病ノ豫防ニ關スル事項

五 勤勞衛生ニ關スル事項ニシテ他ノ主管ニ屬セザルモノ

六 其ノ他醫務ニ關スル事項

第六條 生活局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル 削除

一 健民生活ノ指導ニ關スル事項

二 住宅ニ關スル事項

三 社會福利施設ニ關スル事項

四 救護及治療ニ關スル事項

五 其ノ他國民生活ノ保護指導ニ關スル事項

第七條 勤勞局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 國民動員實施計畫ノ設定及遂行其ノ他勤勞ノ需給ニ關スル事項

二 職業指導及職業訓練ニ關スル事項

三 賃金、給料其ノ他勤勞ノ條件及勤勞能率ノ増進其ノ他勤勞管理ニ關スル事項(軍需省ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク)

四 勤勞者住宅其ノ他住宅ニ關スル事項

五 其ノ他勤勞ニ關スル事項

一 勤勞ノ需給ニ關スル事項

二 職業指導及職業訓練ニ關スル事項

三 勤勞能率ノ増進其ノ他勤勞管理ニ關スル事項

四 賃金、給料其ノ他勤勞ノ條件ニ關スル事項

五 工場及鑛山ニ於ケル勤勞衛生ニ關スル事項

六 其ノ他勤勞ニ關スル事項

第八條 保險局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 健康保險、國民健康保險及労働者災害扶助責任保險ニ關スル事項
- 二 船員保險及労働者年金保險ニ關スル事項
- 三 其ノ他社會保險ニ關スル事項

第九條 厚生省ニ勤勞局參與十五人以内ヲ置キ、勤勞局ノ局務ニ參與セシム

勤勞局參與ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳勅任官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

學識經驗アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル參與ノ任期ハ三年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

參與ハ勅任官ノ待遇トス但シ本官ヲ有スル者ニ付テハ本官ノ受クル待遇ニ依ル

第十條 厚生書記官ハ專任十九人ヲ以テ定員トス

第十一條 厚生省ニ事務官專任二十二二人及理事官專任十八人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ

事務ヲ掌ル

第十二條 厚生省ニ技監專任一人ヲ置ク勅任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌理ス

第十三條 厚生省ニ技師專任四十三十八人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十四條 厚生省ニ體育官專任六四人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ體育訓練ニ關スル事務ヲ掌ル

務ヲ掌ル

第十五條 厚生省ニ教護官專任一人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ少年教護ノ指導監督ヲ掌ル

第十六條 厚生屬ハ專任二百九十四二百四十人ヲ以テ定員トス

第十七條 厚生省ニ技手專任二十五十七人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第十八條 厚生省ニ體育官補專任五 三人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ體育訓練ニ關スル事務ニ從事ス

第十九條 厚生省ニ勞務監督官ヲ置キ書記官、事務官、勞務官、理事官又ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

勞務監督官ハ上官ノ命ヲ承ケ工場法、賃金統制令、賃金臨時措置令(船員ニ關スルモノヲ除ク)、工業労働者最低年齢法、退職積立金及退職手当法、労働者災害扶助法及商店法ノ施行ニ關スル事務、鑛夫ニ關スル事務、鑛山ニ於ケル勤勞衛生ニ關スル事務竝ニ労働爭議調停ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十條 厚生省ニ勞務監督官補ヲ置キ屬又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツ
勞務監督官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ工場法、賃金統制令、賃金臨時措置令(船員ニ關スルモノヲ除ク)、工業労働者最低年齢法、退職積立金及退職手当法、労働者災害扶助法及商店法ノ施

行ニ關スル事務、鑛夫ニ關スル事務、鑛山ニ於ケル勤勞衛生ニ關スル事務竝ニ労働爭議調停ニ關スル事務ニ從事ス

第二十一條 厚生省ニ職業官ヲ置キ事務官又ハ理事官ヲ以テ之ニ充ツ
職業官ハ上官ノ命ヲ承ケ職業紹介ノ連絡統制ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十二條 厚生省ニ専門委員ヲ置キ専門ノ事項ヲ調査セシム
専門委員ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ
専門委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨

昭和十四年勅令第四百八十一號軍事保護院ノ職員ノ特別任用
ニ關スル件中改正ノ件

昭和十八年十一月十一日
昭和十八年十一月一日
勅令第四百四十八號

(参照添付)